

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度第3回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和6年7月4日(木) 午前9時00分 ~ 午前11時20分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 薄葉主事
議 題	(1) 令和6年度評価対象施策の概要について (2) 今後の事務スケジュールについて
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 前回宿題事項一式 【資料2】 外部評価ヒアリングまでのスケジュールについて 【資料3】 当日のヒアリング実施スケジュール 【参考資料1】 事前質問記入用紙(令和6年度外部評価ヒアリング) 【参考資料2】 ロジック・モデルシート(6施策分) 【参考資料3】 施策評価シート・事務事業評価シート(6施策分)

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 開 会</p> <p><第2回外部評価委員会における質問事項の回答について></p> <p>資料1に基づき、説明を行った。</p>
委員	外国人比率の増加と扶助費の増加の関係性を教えてほしい。
事務局	少なくとも、生活保護については、生活保護と同様の保護を外国人に対して行っていると記憶しており、扶助費に一定の影響があると考えられる。その他の扶助費に関するメニューの外国人に対する適用の有無や、影響額については、後日の回答とさせていただく。
委員	戸田市民のうち都内に就業・通学するいわゆる戸田都民の数について、就業者と通学者の内訳を教えてほしい。
事務局	確認し、後ほど回答させていただく。(開催日中に、就業者が26,896人、通学者が2,393人と、各委員に対し回答を行った。)
委員長	<p>2 議 事</p> <p>(1) 令和6年度評価対象施策の概要について</p> <p>本日はタイムスケジュールが厳しくなっており、議題(1)に係る委員からの質問は、各施策に係る事実関係を確認する質問に留めていただき、事業の妥当性など、施策評価の内容に係る質問については、8月に行われるヒアリングの際に行っていただきたい。また、この場ですぐに回答できない質問については、ヒアリング前の書面での回答か、ヒアリング当日に説明を行う取扱いにさせていただく。円滑な進行のため、委員各位の協力をお願いしたい。</p>
事務局	<p><施策15「消防・救急体制の強化」></p> <p>参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>

委員	<p>大前提として、想定している災害がどのようなものなのか、イメージを共有したい。消防や救急の体制は、想定している災害、例えばこの地区には木造家屋が多いので火災が発生した場合、こういう状況が想定されるというシミュレーションがあつて初めて、構築できるものと思う。</p>
事務局	<p>まず、地震等の大規模災害に対応する防災や危機管理の体制については、施策16において対応をしている。本施策については、火災を未然に防ぐ予防や、個々の火災に対する出動など、消防の個々の活動が範疇となる。御質問の体制整備の中で具体的に想定している災害については、担当課に確認させていただく。</p>
委員	<p>2点、質問と資料の要望である。1点目は、施策名称に「強化」とあり、これはある水準からある水準に変化が起こることが想定されているということと思う。事実として変化があつたか否かという点と、あつた場合は、変化を引き起こした構造について教えていただきたい。</p> <p>2点目は、消防救急体制の職員の体制についてデータをいただきたい。公務員の定年延長により60歳以上の職員数が増加すると思うが、その点は「強化」に関する基礎数値として押さえておきたい。</p>
事務局	<p>事前の質問及び御要望として、担当部局と共有させていただく。</p> <p><施策1「子育て支援の充実」> 参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>2点質問する。施策指標で「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間のある母親の割合」とあるが、一方で、ロジック・モデルシートの直接成果として「両親が、それぞれの子どもに合った育児をすることができる。」とある。</p> <p>父親も育児を行う中で、施策指標を母親に限定している理由や、父親の方で何か参考になるような情報があれば提供をいただきたい。</p>

事務局	事前質問及び御要望として、担当部局と共有させていただく。
委員	<p>本施策の取組方針として記載されている「妊娠・出産から育児まで切れ目ない支援の展開」の中で、相談・支援体制の充実とある。この充実を図るという点で、「変化」が生じていると思うので、この業務に従事する会計年度任用職員数など、何か変化が迫るような資料の提供をお願いしたい。</p> <p>また、お金の面においても、支援体制の充実を図っているとすると変化があると思う。ただ、国の事業を市が窓口として行っているのみとすると、市の取組ではあるが、実質的には市の取組として変化がないとも言える。支援体制の充実をお金の面で見ると、最終的に市民の方の手元に届くお金が増えるのだと思うが、それが、国の事業を利用して国の資金で実施しているのか、その資金の一部として市の資金も含まれているのか、また、市の独自事業として市の資金を使っているのか、そういった内訳が分かるような資料を御提供いただきたい。</p>
委員長	重要な点である。例として、国の事業として出産時や妊娠時の応援金があるが、国、県、市でそれぞれ負担割合があると思う。
事務局	<p>御要望として、担当部局と共有させていただく。</p> <p><施策 2 1 「快適で秩序ある美しい市街地の形成」> 参考資料 2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	駅周辺の整備に関し、各駅の完成イメージのようなものがあれば御提供いただきたい。
事務局	御要望として、担当部局と共有させていただく。
委員	<p>個人的な感覚ではあるが、戸田駅西側の整備について、ロータリーの機能が極めて不合理であると思っている。緑も少なくコンクリートで固められていて景観的に見てとても美しいとは思えない。</p> <p>ロータリーは、入ってから出るまでの時間を短くすることが合理的機能の</p>

	<p>1つと思うが、出入り口が1か所で道路も蛇行している。利用車の燃費も悪化すると思うし、SDGsの観点からも疑問がある。都市設計における合理的機能の検証は行うべきと考えている。</p>
事務局	<p>設計に当たっては、担当部局において各種会議等で関係者の意見を聴きながら進めてきたという認識でいる。いただいた御意見は担当部局と共有させていただき、ヒアリングの際に説明ができればと考える。</p>
委員	<p>本施策の取組方針として記載されている「都市マスタープランの推進」について、「都市マスタープランの検証を行い、結果に基づいた見直しを実施します。」とある。ただ、ある程度の実行期間がないと成果は出てこないものなので、見直しもすぐには行うことはできない、というのが一般論としてある。現状で、この都市マスタープランは見直しの局面に入っているか、どういった局面にいるのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>事前質問として、担当部局と共有させていただく。</p> <p><施策27「生活環境の保全」> 参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>ロジック・モデルシートについて、施策指標である「一般廃棄物のリサイクル率」に接続する矢印がなく、リサイクル推進事業と関連があっても良いのかなと思う。また、同事業は評価シートの内容も堆肥化のことが中心になっており、一般廃棄物のリサイクル率の向上を謳う施策の内容としては不十分にも思える。3Rの観点からは、資源物回収に関しての補助等も想定されるので、ヒアリングではそういった具体的な取組等も伺いたいと思っている。</p>
委員	<p>施策指標「河川の水質の環境基準達成率」について、達成値が令和4年度以前は50から60パーセント代での推移であったが、令和5年度に100パーセントになっており、少し違和感がある。実測の経過や、裏付けのデータがあると良いかと思う。</p>

委員長	これについて、事務局で何か事実関係として把握していることはあるか？
事務局	BOD（生物化学的酸素要求量）の測定地点の変更があったことは担当課に確認をしている。御指摘があったことを含め、担当部局に共有させていただく。
委員長	測定方法がこれまでと異なるのであれば、変更について合理的理由が必要になるので、ヒアリングの際に説明をお願いしたい。
委員	市内には下水道が整備されていない地域はあるのか？
事務局	詳細な区域はこの場では分からないが、新曽地区に存在する。
委員	もし未整備地域の近くに観測点があるとすれば、測定値として異なる結果が出てくるようにも思える。いずれにせよ合理的理由が必要である。
事務局	BOD（生物化学的酸素要求量）の測定地点の変更に係る説明が必要なことについては、担当部局と共有させていただく。
委員	施策指標の「一般廃棄物のリサイクル率」について、人口の増加により一般廃棄物の量の増減により、リサイクル率の分母が変わることになる。仮に人口が一定であれば、人口が増加した場合と比較するとリサイクル率は上昇することになる。指標が人口の増減で左右されてしまう訳で、市の努力が見えにくくなっているようにも思える。
事務局	リサイクル率の算定に係る基礎データを提供させていただきたい。
委員長	施策指標について、先ほどのような妥当性に関する御指摘や、より適切な施策指標があれば御提案いただきたいと考えている。目標値の設定の妥当性なども同様である。

	<p>(休憩)</p> <p><施策32 (市民活動の活性化と地域交流の促進)> 参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>施策指標の多文化共生推進計画の進捗率について、当該計画において単年ごとに目標が設定されていて、その達成割合なのか、それとも当該計画に最終的な目標値があり年度ごとにその到達具合みたいな形で進捗率を出しているのか、施策達成値の算定方法を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>多文化共生推進計画に係る個々の施策において年ごとに目標が設定されており、施策数に対する目標を達成した施策数の割合を施策達成値としている。</p>
委員	<p>年ごとに設定されている多文化共生推進計画の施策の具体的な中身と、それぞれの年度でどういった設定になっているのかが分からないと、この施策指標については評価が難しい。</p>
事務局	<p>事前質問及び御要望として、担当部局と共有させていただく。</p>
委員長	<p>町会・自治会の担い手の高齢化が課題とあるが、実際にどれくらい高齢化しているか数値のデータはあるか？また、高齢化に関連した施策指標が設定されていないので、設定した方がよいと考える。</p>
事務局	<p>事前質問及び御要望として、担当部局と共有させていただく。</p>
委員	<p>施策指標の「地域の活動に参加している人の割合」の地域の活動とは具体的に何か？また、市民意識調査では、どういった対象を調査しているのか？</p>
事務局	<p>市民意識調査は隔年で実施をしている。調査対象は、市内在住の18歳以上の方3000名を無作為に抽出し調査書を送付しており、回答はおよそ半分の方からいただいている。無作為抽出は、年齢層や居住地区など戸田市民</p>

	<p>全体の割合と同様の割合の方が選ばれるように抽出を行っている。</p> <p>地域の活動の内容については、市民意識調査において「町会・自治会」「ボランティア団体」「市民活動団体」に参加していると回答があった割合の合計値である。</p>
委員	<p>回答者1人が、今の3つの活動全てに参加していると回答すると、それは3カウントされるということか？</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>ボランティア活動に参加する方は、色々な活動に参加していることが多い。逆に、興味がない方は全く参加しない。市民意識調査の対象者が偶然どちらかの要素を持った方に集中すると、偏った値が出てしまうように思う。</p>
委員長	<p>市民意識調査の結果については、情報提供をお願いしたい。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
委員	<p>本施策には、地域コミュニティの推進が含まれると思うが、ロータリークラブや青年会議所などの団体や企業は、これに含まれるのか？例えば、市内企業でも、少年少女サッカーへの応援や協力、スポンサーになっていたりする。</p>
事務局	<p>地域コミュニティの推進に関する事業において、企業を含んでいる領域があるか、事前質問として、担当部局と共有させていただく。</p>
委員長	<p>この施策で取り扱うものか、あるいは他の施策の対象となるのかという点からも確認が必要と考える。</p>
委員	<p>先ほどの質問に関連するが、地域の活動の範囲に関して、PTAなど色々な活動があると思うが、調査では他にどういったデータをとっているのか。</p>

事務局	<p>市民意識調査での回答項目としては、「趣味のサークルやクラブ」「業界団体・同業者団体」「その他」である。地域の活動の範囲として何を設定するのが適切であるかは、次回以降の調査では担当課とも調整しながら進めていきたい。</p>
委員長	<p>この施策の名称は幅広だが、事業はかなり絞り込まれているように思える。事業を束ねて施策を作るのではなくて、施策から事業を考えるのが本来である。例えば、地域コミュニティの活性化という点で、社会福祉協議会には地区社協があり、色々なコミュニティ活動が行われているはずで、そういったものがこの施策に含まれるのかどうかという議論も必要かと思う。</p> <p><施策10「地域福祉の推進」> 参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>意見であるが、課題の中で民生委員の確保が難しい状況とある。私は民生委員であるが、次の民生委員候補を現職の民生委員自らが探さないといけない現状があり、かなり厳しいと感じている。市の方でも適格者に声掛けをしてもらえると、担い手が増えるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>2点質問する。1点目は、福祉総合相談窓口に係る施策指標の記載について、施策評価シートでは「支援につなげた件数」と総合振興計画の冊子では「支援を実施した件数」の2通りがある。どちらが正しいか教えてほしい。</p> <p>2点目は、施策評価シートの施策の課題について「社会福祉協議会及び民生委員と庁内関係課とが円滑に連携していく必要がある。」とあるので、現状は円滑に連携できていない状態なのだと推察するが、現状でこういった状態なのかを伺いたい。</p>
事務局	<p>事前質問として、担当部局と共有させていただく。</p>
委員	<p>民生委員の確保が難しいという課題の中で、施策指標の「民生委員相談件数」は目標値を上回っている。相談を受ける件数の増加を是とする中で、民生委員数との乖離が広がっており、どこかのタイミングで、どちらかにテコ</p>

	<p>入れをする必要があるのではと感じている。</p> <p>(2) 今後の事務スケジュールについて 資料2・3に基づき、事務局が説明を行った。</p> <p>委員長 意見や質問等はあるか。</p> <p>委員一同 なし</p> <p>3 閉 会</p>
--	---